

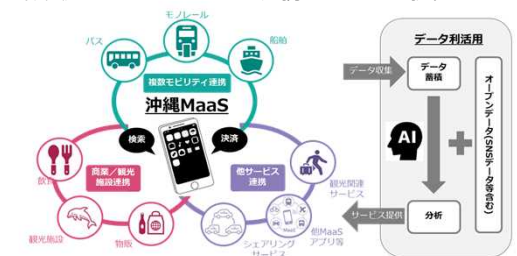
沖縄県全域のフェリーやモノレール、路線バス、オンデマンドバス等の交通手段と、商業・観光施設等交通分野以外との連携や、他地域のMaaSとの連携により、「公共交通機関利便性向上による公共交通分担率向上」、「周遊促進／隠れた観光スポットへの送客/誘客による観光地一極集中の時間的、空間的な分散」の実現を目指す。

協議会の構成員	【幹事】沖縄都市モノレール(株)、石垣市、浦添市、宮古島市、今帰仁村、伊江村、座間味村、竹富町、株式会社ゼンリン、TIS(株)(事務局)、(株)琉球銀行	
地域課題	- 公共交通の利便性の低さによりレンタカーを利用する観光客によって引き起こされる交通渋滞の発生 - 公共交通の利便性の低さによる地域住民の移動手段の自家用車への依存 - 利用者数の減少による、路線バスの維持が困難になっていること - 特定の観光地や観光施設への観光客の集中	
取組の概要	期間	2020年12月23日～2021年2月28日 ※現在も継続中
	エリア	沖縄県全域
	MaaSシステム	MaaS Webサイト「沖縄MaaS」を独自に構築
	交通サービス	- フェリーやモノレール、路線バス、シェアサイクルの複合経路検索機能の提供 - フェリーやモノレール、路線バス、オンデマンドバス等のデジタルチケットやデジタルフリーパスの販売 - タイムズモビリティやシェアサイクル、1人乗用小型電動自動車Ha:moのサイトへのリンクの掲載 - 南城市のMaaSサービスとの連携によるオンデマンド交通のサービス拡張（※コロナ禍により南城市施策が延期）
	交通以外のサービス	- 観光施設等のデジタルチケットの販売 - モノレールや路線バスのチケットと観光施設のチケットがセットになったデジタル企画乗車券の販売 - 商業施設や混交施設のクーポンの配信 - スマートフォンのモバイルバッテリーのレンタルサービス「充電GO!」、那覇空港から宿泊施設までの手荷物の配送サービスの提供等とのリンク連携
検証内容	- 利用者を対象とした、満足度や増客効果、リピート希望率、利用サービス増加の効果検証 - 事業者を対象とした、満足度の検証 - 利用者の移動データの利活用モデルの検証 - 外部サービスとの連携の有効性の検証	

取組イメージ

MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ

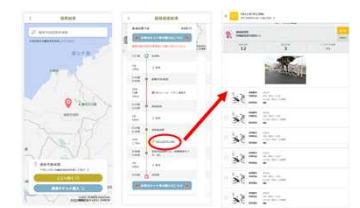
モノレール、バス、船舶、タクシーなど20以上の交通事業者の参画により、複数交通手段・マルチモーダルの連携によるサービス提供を目指す



移動の利便性向上

公共交通分担率の向上

複合経路検索サービス



地域で普及に取り組むシェアサイクルを含む複合経路検索サービスを提供

デジタル企画乗車券



沖縄本島北部の離島の伊江島に行くためのモノレール、バス、船舶、伊江島内の路線バス1日乗車券をセットとして提供

検証結果

- コロナ禍によりユーザ獲得のプロモーション施策が全く実施できない中、5,000人の目標に対し、1,000人を超えるユーザを獲得
- 利用者、事業者に対する満足度調査、データ利活用モデルの本格検証はコロナ感染状況を踏まえ、実証期間を延長し、当初目標5,000人達成時に実施予定
- 交通と交通以外チケットのセット券が売上比率が目標の10%を大きく超える37%となり、外部サービスとの連携の有効性を確認
- データ利活用はユーザ数が少なく本格的な検証を行っていないが、チケット購入タイミングは1時間前が43%、24時間前までで82%となっており、移動直前の告知が効果的と判明

今後の方向性

- 現在もサービス継続しており、今後、デジタル企画乗車券は観光、商業、飲食施設を増やし、有効性が確認できた外部サービス連携を引き続き強化し継続的に検証を実施
- 共通ポイント会員へのプロモーションなど会員獲得施策実施後に各種検証を実施予定
- 新規施策を継続的に実施し、ユーザ獲得、事業者獲得を更に行い、データの質・量の拡充、データ利活用モデルの確立を行う予定